

健康たいとう21推進計画（第三次）
パブリックコメントの実施結果について

意見受付期間	令和6年12月17日（火）～令和7年1月7日（火）
意見受付場所	区公式ホームページでの受付のほか、各区民事務所・分室・地区センター、区政情報コーナー、生涯学習センター、台東保健所（生活衛生課）、浅草保健相談センター、健康課の窓口で中間まとめ閲覧・意見受付。
意見受付件数	6人、6件
提出方法の内訳	郵送 2人（2件） ファクシミリ 0人（0件） ホームページ 4人（4件） 持参 0人（0件）

分類	項番	意見	区の考え方（案） （該当する施策）
基本健康 目標 寿命1命の 生涯伸 を 通じた健康 づくりの 推進と	1	相撲の基本的運動であるシコやテッポウ、腰割りなどは元来、関節や筋肉に負担をかけない体の使い方を身につけるための運動です。それを一般人の健康増進に応用したトレーニング手法があるので、その教室の区の施設での実施や自主活動を支援する取組を導入してほしい。	ご意見として今後の参考とさせていただきます。 （施策1（1）適切な食事と適度な運動 ほか）
	2	台東区では、少しずつ喫煙所の数が増えているものの、御徒町駅周辺や浅草橋駅周辺など、まだ喫煙所が足りていない場所ではポイ捨てや路上喫煙などが見受けられます。健康計画の中にも上記エリアに喫煙所を増やすことを目標とするなどの記載があれば、より住みやすい街になると考えています。	区では、令和4年3月に公衆喫煙環境の整備指針を策定し、喫煙する人もしない人も共存できる分煙環境の整備に取り組んでおります。現在、30箇所の公衆喫煙所を整備するほか、「御徒町」「浅草橋」などを重点整備エリアと設定し、マナーを守って喫煙できる環境の整備を進めています。 （施策1（6）喫煙対策とCOPD予防）

基本生涯目標 1 生涯を通じた健康づくりの推進と健康寿命の延伸	3	<p>この統計を見る限り、最近の高齢者は、様々な情報も多く、栄養のこと、身体に良いことを行い、老化を防ぐことを考えていると思います。しかしごく一部のお年寄りには、他の人との交流を拒み、家に籠りっきりになっているとも聞きます。そのような方をどうすればよいのか考えてもらいたいと思います。</p>	<p>高齢者の社会的孤立がもたらす問題点として、生きがい感の低下や生活に不安を感じることもつながります。</p> <p>区では、高齢者が地域で安心して生活できるよう、地域の皆様や関係協力機関と連携して、高齢者の見守りや声掛けを行う「台東区高齢者地域見守りネットワーク」事業を行っています。</p> <p>今後とも、地域における見守り体制の強化・充実を図るとともに、高齢者がいきいきと安心して自立した生活をする事ができるよう、高齢者の社会参加や地域交流の促進に取り組んでまいります。</p> <p>(施策4(3) 高齢者の健康づくりとフレイル予防の推進)</p>
	4	<p>私はシニアクラブに加入しており、シニアクラブ連合会が開催する輪投げ大会に参加するのですが、年をとっても男女問わず夢中になれる良いスポーツだと感じています。参加者一人ひとりと会話が弾み、人との絆も深まり、数字が大きいところに輪が入ったときのあの笑顔は若返ったように感じるほどです。シニアの方々には、区の施設を利用し、もっとこういった活動に参加してもらいたいと思います。</p>	<p>区では、高齢者が、生きがいのある生活を送ることができるよう、ご好評いただいた輪投げ大会を開催するシニアクラブへの支援をはじめ、住民主体の通いの場活動への支援や、高齢者の運動や趣味・仲間づくりのための各種教室・サロン事業を実施しております。</p> <p>今後とも、高齢者の介護予防・社会参加の促進に向けて、自主活動の支援および教室等の各種事業の充実に取り組んでまいります。</p> <p>(施策4(3) 高齢者の健康づくりとフレイル予防の推進)</p>

<p>基本自殺予防の推進 4</p>	<p>5</p>	<p>LGBTQなどの性的少数者は、そうでない人の6倍もの自殺リスクがあるといえます。自殺予防を進めていくうえで、性的少数者の生きづらさについては、必ず直面する問題かと思われまので、今回の計画にも、性的少数者にかんする項目を付け加えてもらいたいと思います。台東区はこれまで、性的少数者にかんする講座やトークセッションなどをたびたび行ってきました。しかしその一方で、そういった動きに反対する勢力もあるようです。区として、上記のような性的少数者のおかれた状況に理解を示すとともに、自殺予防推進の観点からも、性的少数者への差別には断固反対する姿勢を見せてもらいたいと思います。</p>	<p>国の令和4年の自殺総合対策大綱やご意見の趣旨を踏まえ、施策1「自殺を予防するための環境づくり」の区取組についての文章に、性的少数者等の文言を記載します。区では、男女平等推進行動計画に基づき、様々な機会を捉えて、多様な性の在り方への理解を深めるための啓発活動を推進しています。また、「こころと生き方なんでも相談」や「教育相談」において、性的指向・性自認の悩みなどに関する相談事業を実施しており、今後も理解促進に努めてまいります。</p> <p>(施策1 自殺を予防するための環境づくり)</p>
<p>基本食育の推進 5</p>	<p>6</p>	<p>台東区では既に「循環型ライフスタイルへの転換に向けた取組に関する連携協定」などを結びコンポストを使った堆肥の回収活動などを実施しているので農地のない台東区だからこそ、食育や地域におけるプランターによる野菜などの栽培活動を支援する施策や事業も展開した方がよいのではないのでしょうか？農作業はこころの健康にもなりますし、子供たちが自分で育てた野菜は嫌いな野菜でも食べられたなどの声も聞きます。また、町会の祭礼などの行事には参加しづらい方々も農作業なら参加しやすいイベントになると思います。回収した堆肥やプランターを区民に配布して最近急増しているマンションのベランダで栽培した野菜を区内のパブリックスペースで販売するマルシェや地域の飲食店で調理してもらって食べるイベントがあっても楽しそうですね。ご検討の程よろしく願いいたします。</p>	<p>区では、環境負荷を低減し、持続可能な循環型社会の実現に向け、令和5年度に民間事業者と「循環型ライフスタイルへの転換に向けた取組に関する連携協定」を締結し、新たな生ごみ減量対策に取り組んでいます。</p> <p>具体的には、「はじめてのコンポスト講座」や「堆肥を活用したガーデニング講座」の開催、コンポスト容器の斡旋、区内のこども園における環境学習、生ごみ減量啓発イベントなどを実施しています。</p> <p>今後も循環型ライフスタイルへの転換に向けた普及・啓発を推進してまいります。</p> <p>(施策2 食の循環や環境を意識した食育の推進)</p>